

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	知能機械工学基礎セミナー		
英文授業科目名	Introductory Seminar on Mechanical Engineering and Intelligent Systems		
開講年度	2009年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	M全教員		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
matsu@mce.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>新入生が知能機械工学科の教育および研究の内容と目標を理解し，新たな勉学意欲を持つことが出来るようにする．そのため，1年次前期中に多くの教員と接し，教育・研究方針を聞いたり，各研究室の最先端技術の動向を知る機会を提供する．さらに本セミナーでは，学生自身が調査・学習した内容をプレゼンテーションする場を設けており，学生の積極的な学習を支援する．</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし．

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし．

【教科書等】
なし．

【授業内容とその進め方】
<p>知能機械工学科の各講座の専門教員8名から各研究室の研究テーマに関連する講義を受け，講義終了後担当教員が定めたテーマに関するレポートを提出する．また4回にわたって，2つの班(M1，M2班)に分かれ，関連研究室を見学する．最終回は，研究発表(プレゼンテーション)を行なう．各自が世話役教員より指示されたプレゼンテーション用課題から1題を選択し，発表と質疑応答を行なう．終了後に基礎セミナー全体についての感想文を提出する．計14回の講義である．</p>

電気通信大学 平成21年度シラバス

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

2回講義と1回研究室見学毎にレポートの提出がある。講義を良く聞き、興味を持って研究室見学に参加して、レポートをまとめること。
プレゼンテーションは、与えられてテーマについて事前に調査を行い、発表当日までに準備を行うこと。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法：

出席状況，レポートおよびプレゼンテーションの内容より成績を決定する。

評価基準：

基本的に全ての講義，研究室見学出席し，レポートが受理されていることと，最終回のプレゼンテーションの参加を合格の最低基準とします。なお，病気等で欠席した場合は，欠席届を後日提出すること。

【オフィスアワー：授業相談】

講義に関する質問，研究室に関する質問は，各担当教員が適宜応じるが，E-mailなどで事前にアポイントをとること。基礎セミナー全体に関する質問等は，幹事がE-mailで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

本学科の教員から話を聞き，実際の研究現場を見学し，さらに自分で調べてプレゼンテーションすることにより，これから皆さんが学ぶ専門分野の雰囲気や勉強すべきことがわかると思います。また，これらを通じて，卒業研究，さらには大学院での研究状況の理解につながることを期待します。大学に入学できたらそれで目標を見失うことないように，将来の目標をしっかりと定めるためにこの講義は開設されています。

【その他】

なし。